

浜田市

まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス⁺

浜田市は、若者が暮らしやすいまちをつくります！

～ 「浜田で出会い・結婚・出産・子育て」 応援プログラム ～

令和 3 年 2 月

I 背景

当市の人口推移を見ると、若者の就学や就職による転出者数が増加し、それにともない出生数の減少が進んでいる状況にあります。15歳から39歳までの人口は、現在の「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した5年前と比較すると14.6%減少し、元気で活力ある地域づくりに欠かせない若い世代の定着が課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、地方への暮らしが見直されつつある中、地方への人口分散の受け入れ態勢、特に、テレワーク等の新たな生活様式に対応できる基盤整備が求められています。

島根県では、令和2年3月に新たな島根創生計画を策定し、基本目標の一つとして、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ことを掲げて取組を始めており、本市も、国や県の戦略と歩調を合わせて人口減少対策に取り組む必要があります。

そのような背景のもと、「浜田市まち・ひと・しごと総合戦略」では、令和元年11月に計画期間を2年延長し、今後の新たな取組として、次の施策を展開することとし、この施策については、総合振興計画後期基本計画（令和4年度～令和7年度）にも引き継いで取り組んでいくこととしています。

「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス」のイメージ

現状

企業促進奨励金	ふるさと農業研修生受入事業	企業立地促進事業
起業家支援プロジェクト	第3子以降保育料軽減事業	無料職業紹介事業
浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (平成27年度～令和3年度)		
雇用促進協議会事業	乳幼児等健康診査事業	敬老乗車券交付事業
安心お産応援事業	児童医療費助成事業	ほか



追加

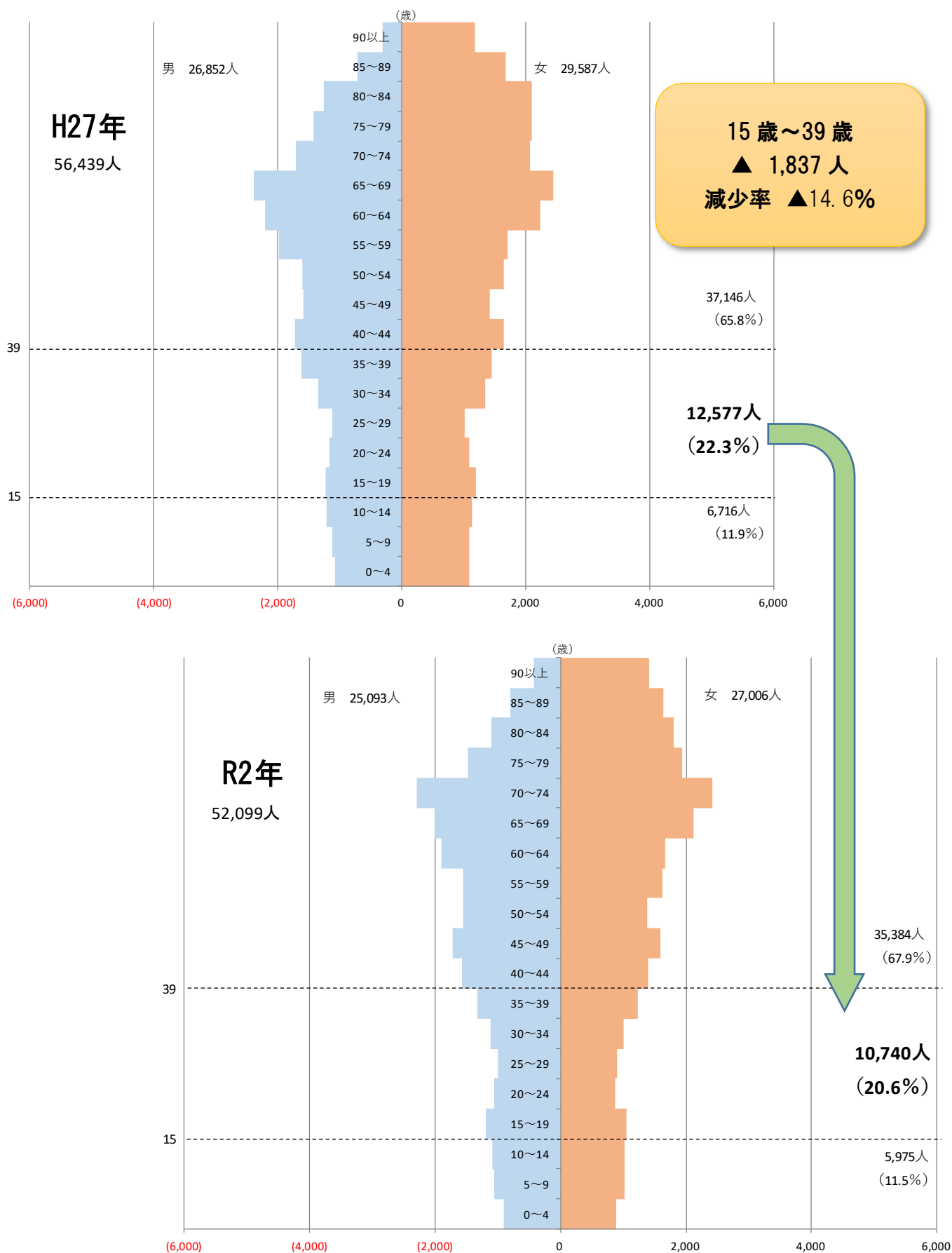
浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス⁺

浜田市は、若者が暮らしやすいまちをつくります！

～「浜田で出会い・結婚・出産・子育て」応援プログラム～

(令和3年度～令和7年度)

【浜田市の年齢階層別人口】

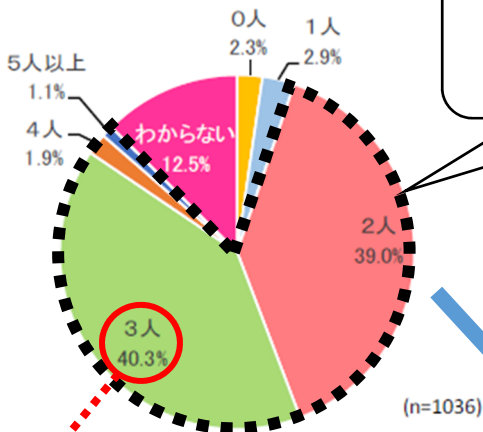


※ 住民基本台帳より（外国人を除く）H27. 5. 1 現在 及び R2. 10. 1 現在

II 現状

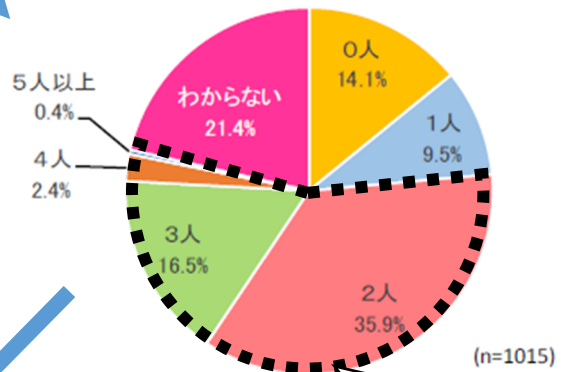
① 子どもの人数

【理想的な子どもの数】



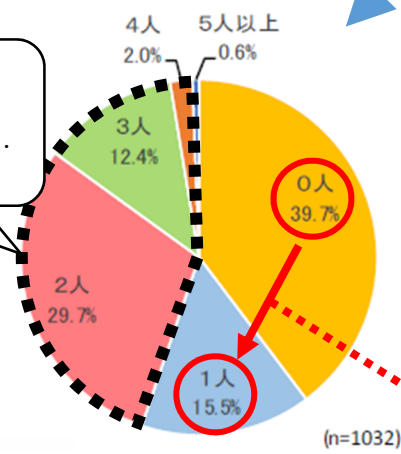
理想的な子どもの数は
2人以上が8割を超えます！

【実際に予定している子どもの数】



予定している子どもの数でも
2人以上が5割を超えます！

【子どもの数】



子どもの数では
2人以上が5割以下に…

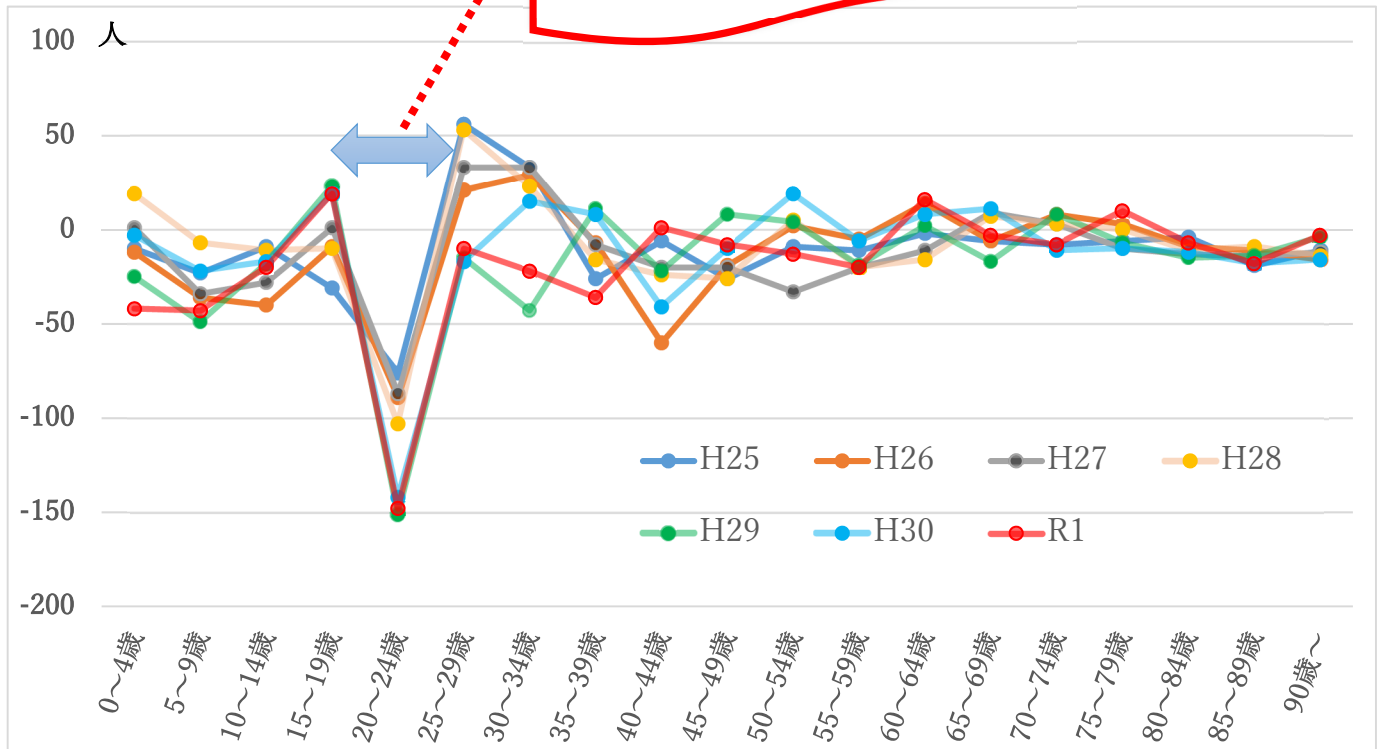
施策1
子どもの数を0から1へ

施策2
理想の子どもの数へ

グラフは令和2年4月「しまねっ子すくすくプラン別冊」から引用

② 若者の社会増減数

施策3
若者の社会減を減らす
施策4
新たな生活様式へ



(単位：人)

	0 ～ 4歳	5 ～ 9歳	10 ～ 14歳	15 ～ 19歳	20 ～ 24歳	25 ～ 29歳	30 ～ 34歳	35 ～ 39歳	40 ～ 44歳	45 ～ 49歳	50 ～ 54歳	55 ～ 59歳	60 ～ 64歳	65 ～ 69歳	70 ～ 74歳	75 ～ 79歳	80 ～ 84歳	85 ～ 89歳	90歳 以上
H25	-10	-23	-9	-31	-76	56	33	-26	-6	-26	-9	-11	-2	-6	-8	-6	-4	-19	-11
H26	-12	-36	-40	-9	-89	21	29	-7	-60	-19	2	-5	14	-6	8	3	-9	-11	-16
H27	1	-34	-28	1	-87	33	33	-8	-20	-20	-33	-20	-11	9	3	-10	-13	-14	-12
H28	19	-7	-11	-10	-103	53	23	-16	-24	-26	5	-20	-16	7	3	0	-11	-9	-14
H29	-25	-49	-18	23	-151	-15	-43	11	-22	8	4	-19	2	-17	8	-7	-15	-14	-4
H30	-3	-22	-17	19	-142	-17	15	8	-41	-10	19	-6	8	11	-11	-10	-12	-18	-16
H31	-42	-43	-20	19	-148	-10	-22	-36	1	-8	-13	-20	16	-3	-8	10	-7	-18	-3

III 新たな取組



【施策1】 出会い・結婚・出産への支援 ～子どもの数を0人から1人へ～

8割以上の方が、子どもを1人以上欲しいと考えている中、実際の子どもの数では0人が約4割を占めている状況です。子どもが欲しい人への支援を充実することで、理想とする子どもの人数を産み育てることができる浜田市を目指します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
結婚新生活支援事業交付件数 ※目標値は5年間の累計件数	0件 (令和2年度)	550件 (令和7年度)
認定事業所数 ※目標値は5年間の累計事業所数	0事業所 (令和2年度)	70事業所 (令和7年度)
一般不妊治療費助成件数 ※目標値は5年間の累計件数	63件 (令和元年度)	350件 (令和7年度)
特定不妊治療費助成件数 ※目標値は5年間の累計件数	32件 (令和元年度)	200件 (令和7年度)

(主な事業等)

- 男女の出会い創出事業【拡充】
⇒ 民間団体が行う出会い創出を支援
- 結婚新生活支援事業【新規】
⇒ 結婚に対し、国の「結婚新生活支援事業」による支援または、国の事業の対象から外れる場合は、市独自の「結婚祝い金の支給」による支援
- 出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定事業【新規】
⇒ 従業員の出会いから子育てを制度や休暇取得等によって応援している事業所を認定
- 産前産後家事支援サポーター派遣事業【拡充】
⇒ 妊娠中から生後6か月までの子どもを持つ親に対するおためし券の無料配布
- 不妊治療支援事業【拡充】
⇒ 一般不妊治療・特定不妊治療ともに現行制度を拡充

【施策2】 第3子以降の出生に向けた支援 ～理想の子どもの数へ～



理想的な子どもの数が3人という数字が約4割を占めるなか、予定している子どもの数や実際の子どもの数は0人から2人が大半を占めています。総合戦略の目標としている合計特殊出生率2.17を目指すため、3人目以降の出生について重点的に支援していくとともに、父親の家事・育児への参加を推進し子育てへの負担軽減を図るなど、出生数の増加につなげる施策を展開します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
第3子以降出生祝い金交付件数 ※目標値は5年間の累計件数	0件 (令和2年度)	350件 (令和7年度)

(主な事業等)

- ① 第3子以降 子育て支援事業【新規】
⇒ 第3子以降の子どもに対し、次の支援を展開します。

・ 出生祝い金支給 ・ 保育料無償化 ・ 保育所等給食費無償化

② その他の子育て支援事業

○ ファミリー・サポート・センター運営事業【拡充】

⇒ 生後3か月から小学校6年生までの子どもを持つ親に対し、新規登録時におためし券を無料配布

○ 紙おむつ廃棄用ごみ袋配布事業【新規】

⇒ 令和3年4月1日以降に生まれ、かつ満1歳までの新生児又は乳児の保護者に対し、紙おむつ廃棄用のごみ袋を配布

○ 学校給食費激変緩和対策事業【継続】

⇒ 現行制度の延長

○ 産前産後家事支援サポーター派遣事業（再掲）

○ 出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定事業（再掲）

【施策3】若者の暮らしやすいまちづくり ～若者の社会減を減らす～



移住希望者と人手不足に悩む地元事業所とのマッチングを行う事業協同組合を支援するなど、若者等の定住の促進を図ります。また、若者の暮らしやすいまちづくりに向けた新たな発想、施策を展開するため、異業種の若者が集い、語り合う場所を提供します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）
15歳から39歳までの人口	10,740人 （令和2年度）	10,000人 （令和7年度）

※ 目標値は、若者世代が毎年200人程度減少するという推計を踏まえ、減少幅を150人程度にとどめるよう設定

（主な事業等）

○ 特定地域づくり事業協同組合支援事業【新規】

⇒ 浜田市に移住する若者等の市内企業への派遣やU・Iターン者が活躍できる場を創出し、定住促進を図る

※ 令和3年当初予算においては「音楽を核とした定住促進事業」

○ はまだITらば設置事業【新規】

⇒ ITを核としたワーキングスペースやシェアオフィスを設置し、若者の交流を図る

○ 若者会議設置事業【新規】

⇒ 若者で構成された組織を立ち上げ、若者の発想による新たな施策を実現

○ 移住・定住情報サイト作成事業【新規】

⇒ 若者等のU・Iターン者に特化した移住定住サイトの構築

○ 看護学校学生等修学資金貸付事業【新規】

⇒ 浜田医療センター附属看護学校等の学生への奨学金支給

【施策4】新たな生活様式への対応 ～新たな生活様式へ～

新型コロナウイルスの感染拡大により、テレワークや新たな生活様式、地方への人口分散に対応するため、通信基盤の整備が最優先の課題と考え、全市に高速通信基盤を整備するとともに、その有効活用に向けた地域情報化計画を策定するなど、デジタル推進（DX推進）に取り組めます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）
高速情報通信網 市内カバー率	80.72% （令和2年度）	100% （令和7年度）
地域情報化計画の策定	0% （令和2年度）	100% （令和7年度）

（主な事業等）

○ 高速情報通信基盤整備事業【新規】

⇒ 市内のケーブルテレビ回線の光回線化

浜田市はSDGs(持続可能な開発目標)を支援しています。

表紙のロゴは、新たな取組をSDGs 17のゴールで表しています。



SDGsとは：Sustainable Development Goalsの略であり、2015年9月の国連サミットで採択